



〔2018年4月26日発行 会報第925号〕

今週のプログラム

(2018年4月26日 第925回例会)

「ファイアサイド・ミーティング」

担当：水本徹会長

次週のプログラム

(2018年5月10日 第926回例会)

「不眠症 insomnia」

担当：小山富夫名誉会員

〔第924回例会 (2018年4月19日) の記録〕

「会長の時間」

水本 徹 会長

皆様は「村上 正行」という方をご存知でしょうか？

村上さんはNHKからニッポン放送の開局と同時に移籍され、定年まで過ごされましたがこの方の「新人アナウンサーの最終合格への秘密」のお話しです。

何千人もの応募の中から、書類選考で選ばれ、筆記試験に挑み、数がどんどん絞られていくアナウンサー志望の人々。最終選考に残る人たちは、もうほとんど実力的には誰を採用しても変わりはない。それなら、ここからは運が左右する世界と思われるかもしれないですが、ところがなかなかそうは行きません。

最終面接で、選考委員は何を見るか？それは、失敗した時なのだそうです。

原稿読みでも、質問に対する答えでもいい、人は間違いや失敗した時に、本性が出る。そこを見逃さない、というより、そこばかり見ているのだそうです。

ニュース原稿を読み間違える・・・その時にふと垣間見せる人を寄せ付けない冷たく険しい表情。こういう人は落ちる。合格するのは、失敗した時でも、周囲を明るくしてしまう若さと明るさを持った人なのです。

NG集でやっているアナウンサーのハプニング集も、そのような最終選考を通った人だからこそ、視聴者は明るく笑えるのです。

「人は、話の内容よりも、話し手の人柄を、話し方や内容で見ているのです」

と村上さんはおっしゃる。確かに、どこの局でもやっている天気予報は、キャスターの人柄でチャンネルを合わせている自分に気がきます。

そして、毎週「会長の時間」でお話させて頂いている事へのプレッシャーが増しているのにも気付かされました。

＜お客様＞ 2018年度 米山奨学生 金 東河（キム ドンハ）君

＜出席報告＞ 岸上和典 出席担当

会員数（内出席免除会員1名） 20名

本日の出席者数

（内免除会員1名、名誉会員0名） 17名

本日の出席率 85%

前々回（4月7日）の修正出席率 100%

＜ロータリーソング＞ 全会員

♪それこそロータリー♪

＜本日のピアノ曲＞ 近藤美里さん

1. A Whole New World

2. やさしい風

3. 薔薇のタンゴ

4. EL CHOULO

＜幹事報告＞ 山本友亮 幹事

- 1 先週配布しました次年度プログラムの7月19日に次年度松尾浩ガバナー補佐訪問を加筆してくださる様、お願い致します。
- 2 千里ロータリークラブより創立45周年記念公開講演会のご案内が参りましたので全会員のメールボックスにチラシを配布致しました。  
参加申し込みをクラブでとりまとめますので、回覧申し込み表にご記入ください。
- 3 2018-19年度第39回大輪ゴルフ会の事前案内を回覧致します。  
IM再編成に伴い、地区内全クラブへの参加案内になったそうです。
- 4 今年度IMロータリーデーホストを務められた高槻ロータリークラブより、繰越金についてのご連絡・ご説明がありました。詳細を回覧致します。
- 5 第27回SS会ゴルフコンペに参加される5名の会員様のメールボックスに千里RC会長古城様からのご案内を配布致しました。
- 6 4月7日の地区協議会資料を部門別に担当委員長にEメール添付で送信させて頂きましたので、ご確認下さい。
- 7 前ロータリー財団奨学生多田将晴さんから近況が届きましたので回覧致します。

＜SAA報告＞ 岸上和典 副SAA

\*スマイルボックス

西本明文会員 快眠の春の日でした。

柳原会員 出雲大社、楽しかったです。ありがとうございました。

山下会員 コメントなし

相原会員 コメントなし

\*ロータリー財団

西本詩子会員 花みづき、ツツジが美しいです。

藤田会員 今日、明日、暖かい日が続きます。

高尾会員 コメントなし

山下会員 コメントなし

\*米山記念奨学会

水本会員 金君、千里メイプルRCへようこそ。

黒川会員 やっと春！！

藤田会員 金東河さんようこそ！！

山下会員 コメントなし

高尾会員 コメントなし

山本雅之会員 コメントなし

\*ラオス基金

藤田会員 ラオス、また行きたいですね！！

柳原会員 今週の日曜日落語に行きます。

山田会員 早退のおわび致します。

黒川会員 ラオスには行きたい！！

山下会員 コメントなし

西本詩子会員 コメントなし

\*メイプル基金

高尾会員 山本（雅）会員、卓話よろしく。

黒川会員 オートバイの話を楽しみにしています。

柳原会員 来週から税務調査です。3件来ます、うれしいな～

藤田会員 山本雅之会員、卓話楽しみです。

山田会員 16日（金）再び松江、出雲へ仕事でしたが、ご縁がない。

水島会員 山本（雅）会員、卓話よろしく。

西本詩子会員 出雲旅行、大庭博子さんも大変およろこびでした。

皆様によろしくとの事でした。

山下会員 コメントなし

相原会員 コメントなし

山本友亮会員 コメントなし

西本明文会員 コメントなし

私は、16歳で原付の免許を取って以来、今までずっとオートバイを所有し乗り続けてきた。その車歴を紹介すると共に、そのオートバイの特徴や、ポイントを説明する。人生初のオートバイは、「ホンダ MT-5」格好優先でオフロードタイプのものを買った。スクーターではなく、ミッション車に乗りたくてこれを購入したもののクラッチ操作をやったことがなく自力で練習した。

次に、17歳で中型免許を取ったことで「ホンダ VF400F」を新車で親に買ってもらう。後にも先にも親に買ってもらったのはこれ1台のみである。

18歳で大型免許を取得し「ホンダ CB750FB」を中古で購入、750ライダーとなる。その後排気量も増え、ついにリッターバイクの「スズキ GSXR1100」(86年式)を購入。途中、ミニバイクレースにハマり、「スズキ Hi」や「ホンダリーダー」にも乗る。ビッグバイクとしては次に、バリバリ伝説にも出てくる「スズキ GSX750S 刀」に乗る。その次は、ついに1300ccもある「カワサキ ZG1300Turbo」を中古で購入。直列6気筒のエンジンにターボチャージャーを付け200馬力を超すモンスターだった。これがエンジンプローにより故障、修理に出すが結局復活できず、また「スズキ GSXR1100」(88年式)を友人から購入。

この頃サーキットの走行会に行ったのをきっかけにレースの世界へと足を踏み入れる。そこで「ホンダ VF500F」を友人と共同購入し、サーキット専用に変更しレースに参戦。もっとスピードを求め、「スズキ GSF1200」を買いレース用に改造、更に深みにハマる。数年後には、より戦闘力の高い「スズキ GSF1200 改」を購入し表彰台の常連になる。レースを始めて8年目、国際A級ライダーへと昇格と同時に選手権レースに出るため、「スズキ GSXR1000」を購入、翌年には、「ヤマハ YZF-R1」で8耐を走る。

40歳を機にレースから引退、「スズキ GSF1200」と「ヤマハ YZF-R1」は街乗り用に直し乗り続ける。「ヤマハ YZF-R1」はオブジェとしてずっと家に置いているが、「スズキ GSF1200」は後に売却し、「MVアグスタ ブルターレ」を新古で購入し、今に至る。今まで数多くのバイクを乗り継いだが、全てにおいて言えることは自分仕様に行っていること。バイクは、実用性よりも趣味性が高いものなので、マフラーやステップ、外装に至るまでノーマルで乗ったことは一度もない。

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>